

学校名	野沢小学校		
ホーム ページURL	児童・生徒数 682 名		
・ テーマ 一人一人が自ら課題を持って取り組む総合的な学習のあり方はどうあったらよいか リサイクル活動を通して環境問題に向かう学習 テーマの分類 (- ウ) 下記の欄外記載事項を参照してください。		(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 6年	
(3) 活動のねらい ・学校教育目標(やさしく・かしこく・たくましく)と関連をもたせつつ、総合的な学習の観点の決めだをした。1、具体的な体験や活動の重視 2、自分とのかかわりで社会や自然をとらえさせる 3、自分自身への気づき 4、生活上必要な基礎的な知識や技能を身に付ける。この観点を評価につなげて活動を深めている			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ○交流教育を通した福祉体験学習 ・養護学校との交流 ・耳の不自由な方との手話による交流 ・目の不自由な方との交流 点字学習など ○学校の周りのゴミ拾いなどのボランティア学習 ・家庭の不用品を使ったりリサイクル学習 ○身近な講師による体験学習 ・染色体験 ・熱気球体験 ・海外ボランティア体験者によるお話を聞く会 ○パソコンを利用した情報学習 ・ホームページを作ろう インターネットで調べよう 時数(40程度)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ○通学区住民講師による校内学習会。 ○通学区住民講師の体験発表会。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ○時数の上限を決め学期ごとに計画して授業を進めている ○学校便りを通して保護者に理解を進めている。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・先に示した観点を具体的に評価場面につなげて考え、児童生徒の興味や関心が、そのまま環境学習や福祉学習につながり、意欲的な学習につながることをねらっている。			
(8) 成果と課題 (成果)物を大切にしようとするところ。相手の立場を考えて行こうとするところ。自分の興味を持ったことを責任を持って追究して行こうとする意欲など子どもの心に芽生えてきている。また、地域からの人材交流を盛んに進めることができ、地域との交流ができる。そのことが総合学習のきっかけ作りに大いに反映されている。 (課題)基礎学力をつけるためにも取り込まれている総合学習であるが、ともすれば、その活動自体に時間がとられすぎ、個人の能力差に応じた指導の時間がとりにくくなっている。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(- ア 国際理解 - イ 情報 - ウ 環境 - エ 福祉・健康 - オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題